



PANIC

STRATEGY

CRISIS!

CONTRACT
Oswald

貿易の迷宮 Vol.10

1円の変動が喉元を焼く ～為替予約の盾～

「利益は確定するまで、幻でしかない。」
物語のテーマ：為替リスクヘッジと財務戦略

第1話：好調な受注、見落とした「予兆」

「やったぜ！
今月もキッチン用品の
受注が絶好調だ。
仕入れ値は\$10,000。
販売価格は150万円。
粗利40万円は堅いな！」

（前回、関税や送料で痛い目を見たけど、今回は計算済みだ。
もう俺に死角はない！）

USD/JPY
110.00

Crisis Red (#D32F2F)

『…米国金利の上昇に伴い、円安傾向が続いており…』 110.00 Oswal

第2話：決済日、悪夢のレート



利益消滅の計算式

【当初の皮算用 (@110円)】

売上：1,500,000円

仕入：▲1,100,000円 ($\$10,000 \times 110$)

利益：+400,000円

【現実 (@145円)】

売上：1,500,000円

仕入：▲1,450,000円 ($\$10,000 \times 145$)

利益：**+50,000円**

激減

「仕入れコストが35万円も増えた…？ 俺の今月努力が、為替だけで吹き飛んだのか!？」



第3話：祈りは戦略ではない

「頼む…下がれ…
決済日までに少しでも
円高に戻ってくれ…！」

146円…
147円…

カチ カチ
カチ

カチ
カチ
カチ

PI-PO-ON!

「貿易ってこんなの
博打じゃないか！
汗水たらして営業して、
最後は運で決まるのかよ！」

第4話：相場を当てるな、固定しろ



「随分と顔色が悪いわね。
為替チャートと睨めっこして、
何か変わるの？」

「相場を当てるのは
ギャンブラーの仕事よ。
貿易商人の仕事は、
相場を『固定』して
利益を確定させること。」

「課長！ このまま
じゃ赤字です！
どうすれば相場を
読めますか!？」

講義：為替予約 (Forward Exchange Contract) とは？

\$1 = 112円
(Fixed Rate)



Time Tunnel

Forward Contract Shield

Market Rate:
? 150円? 100円? ?
(Unknown Risk)

\$1 = 112円



Now
(発注時: Booking)

Future
(決済時: Settlement)

定義： 将来のある時期に、外国通貨を「今の時点で決めたレート」で売買することを銀行と約束する契約。
メリット： 原価が確定し、利益が確保される (=不確実性の排除)。

第5話：未来を縛る覚悟

BANKING

打

もし円高になったら
為替差益が...



「その『たれば』が素人の考
えよ。私たちの目的は
『為替で儲けること』じゃない。
『本業の利益を守ること』よ。」

「でも課長、もし予約した後に
円高（100円）に戻ったら、市場
より高いレートで買うことにな
って『損』をするんじゃないか...？」

CONFIRM

Click!

第6話：1円の変動も恐れない



陸田 怜の貿易格言



「相場に祈るな。
未来を契約で縛りなさい。
予測できないリスクを
『確定したコスト』に変えること。
それがプロの財務戦略よ。」

まとめ：為替リスクから身を守る3つの鉄則



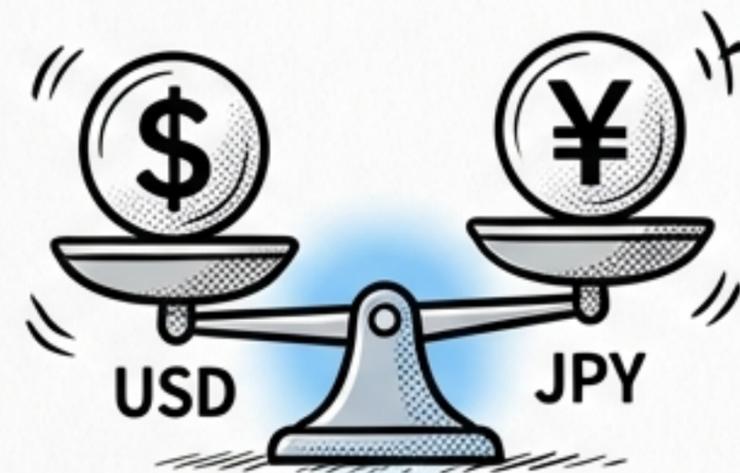
1. 社内レートバッファ (Buffer in Internal Rate)

見積もり時は、現在のレート
+1~2円の余裕を持って
計算する。



2. 利益率と予約 (Margin & Booking)

薄利の商品は必ず予約を
入れる。「為替差益」という
色気を出さない。



3. マリー (相殺) の活用 (Currency Marrying)

輸出と輸入の両方があるな
ら、外貨口座を活用し、
円に換えずドルで回す。

次号予告：Vol.11 銀行を味方に付ける

「よし！
為替リスクは克服した！
これでガンガン輸入
できるぞ！」

Rikuda's Voice

「次は『黒字倒産』の危機ね。
現金を介さずに物を動かす魔法、
信用状 (L/C) を教えるわ。」

Accounting Dept (Voice from outside):

「海野くん…次の大型発注だけ
ど、うちの現金 (キャッシュ) が
足りないよ？」

To Be Continued